

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	令和6年2月 袋井市教育委員会 定例会
招 集 日 時	令和6年2月15日(木)午後1時30分
会 議 時 間	午後1時30分から午後4時25分まで（2時間55分）
場 所	教育会館 3階 ICT研修室
出 席 者	鈴木一吉 教育長 鈴木万里子 委員 溝口知秀 委員 (計：3人)
欠 席 者	大谷純應 委員 吉田陽子 委員
傍 聴 者	無し
当局出席者	石黒克明 教育部長 山本裕祥 教育監 山本 浩 教育企画課長 小鷹義晴 おいしい給食課課長 杉山明子 子ども未来課長 小澤一則 育ちの森所長 神田明治 学校教育課課長 中村悟史 魅力ある部活動推進室長 大庭尚文 生涯学習課長 小久江暁子 袋井図書館長 白澤 崇 歴史文化館長 平野邦孝 教育企画課未来の教育推進室長 松井健尋 教育企画課主幹兼教育総務係長 (計：13人) (合計：16人)
会議に付した 事 件	別紙「令和6年2月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和6年2月 袋井市教育委員会定例会 日程
会 議 日 程

- 日程第1 開 会
日程第2 会議録署名委員の指名
日程第3 会議録の承認
日程第4 教育長報告
日程第5 教育部月例事業報告
日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）協議事項

- 協第1号 令和5年度2月一般会計補正予算について
協第2号 令和6年度一般会計当初予算について
協第3号 袋井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

（2）報告事項

- 報第5号 児童生徒1人1台学習用端末の更新（G I G A第2期）について
報第6号 袋井市こども計画の策定について
報第7号 令和6年度 不登校対策支援事業について
報第8号 令和5年度袋井市立中学校の部活動地域連携・移行に関する取組経過について
報第9号 令和5年度卒業（園）式・令和6年度入学（園）式 出席者・日時一覧
報第10号 令和5年度静岡理工科大学 高校生学術交流事業「研究室訪問@SIST」の実施結果について
報第11号 宇刈里山公園への「化石レプリカ・説明看板等」の設置及びお披露目会の開催について
報第12号 社会科副読本デジタル版作成事業の経過について
報第13号 寄附品の受納について
報第14号 個別最適な学びに向かって 新たなA I 学習ドリルの活用

日程第7 その他

（1）連絡事項

- ア アザレアセブン応援給食について
イ ジュビロ応援給食について
ウ 令和5年度 保育士等キャリアアップ研修の開催結果について
エ 令和6年度 袋井市教育委員会 主な年間行事予定表（案）

（2）次回定例会等の予定について

- 3月教育委員会定例会
3月22日（金）午後1時30分～ 教育会館3階 ICT研修室

（3）その他

日程第8 閉 会

1 開会

●教育長

2 会議録署名委員の指名

●教育長

鈴木委員 と 溝口委員 を指名

3 会議録の承認

●教育長

1月の定例会の会議録については、承認

4 教育長報告

●教育長

資料に基づき、主な内容を報告

5 教育部月例事業報告

●各課長

資料に基づき、各課長から主な事業を報告

6 議事

【協議事項】

協第1号 令和5年度2月一般会計補正予算について

●教育企画課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

●教育長

原案どおり、承認します。

協第2号 令和6年度一般会計当初予算について

●教育企画課長、子ども未来課長、学校教育課長、袋井図書館長

資料に基づき説明

●教育長

ほんの一部だけ説明をさせていただきます。この間、部長会議がありまして、市長が来年度予算に、ある意味キャッチコピーのような、キャッチフレーズをつけるとしたら何か

という話がありまして、市長自ら、子育てと防災だと言う話がありました。子育てって何かと思いましたが、どうも図書館の話が頭に強く残っているらしく、まちじゅう図書館が子供の為になるということです。まちじゅう図書館に、かなり注力されているというか、思いが強くてですね、市長に事あるごとにまちじゅう図書館の話をしていただいたので、非常にありがたいと思います。ただ、実はこの2億円のうち、半分は国の交付金が入る予定で、3月の中旬に採択されるかどうかは分かるのですが、そこで採択されなかったらどうなるかっていうのが少し懸念材料あります。一応予算を計上して来年度執行していくという話になります。それで、総合教育会議の時に話がありましたが、例えばコンビニでも本を返せばいいじゃないって話は、この次のフレーズという形になろうかと思えます。まず最初は学校と繋ぎ、つぎは幼稚園、公立園とつなぎ、コミセンまで繋ぎ、最終的にはどこでもっていう形が発展的になっていけば、正にまちじゅう図書館になるのかなと思うので、順次取り組んでいくという形になっていくかと思えます。それと、もう一点だけ、学習アプリを小中学校で来年から導入します。これは報告事項として一番最後でまた説明をしてくれますけれども、予算の財源は保護者の負担になるという予定にしています。今の紙のドリル、補助教材というのは、各学校で導入して、それは保護者の負担、学年費で賄ってもらってますけれども、その学年費の一部を学習アプリに充てると、したがって、今までの紙のドリルはもっと減らすという形になります。全体の学年費は変わらずに、その中で学習アプリを導入していただく、その費用については保護者に負担していただくという形を今考えております。したがって、歳入予算として保護者の負担を予算計上しますので、それについても議会にお諮りすることとなります。中身については、後ほど説明がありますので、よろしくお願ひします。何かご質問がありましたらお願ひいたします。

[質疑・意見（要旨）]

●溝口委員

先ほどの小学校のトイレですが、やはり見に行くと、まだまだトイレが、汚いわけじゃないんですけど、古いところが多いですよ。たぶん、僕らの年代の人たちと違って、いまの子どもたちは、やっぱり洋式トイレかなって思って、いつも見えています。これは3年ぐらい掛けてということですが、なるべく早くやってあげてほしいなという思いです。それから、図書館の話はいろいろ取り入れていただいて、本当いいですね。子供たちが電子書籍ということで、自分のパソコンとかタブレットで読めるようになって、果たして読んでくれるかなというのが心配なんですけど、期待はしたいなと思っています。ありがとうございます。

●鈴木委員

今のトイレの件は、今年南小学校がきれいになって、やっぱりすごくいいなと、自分もずっと念願でしたが、別に数が減るわけではないですよ。

●教育企画課長

そうですね。

●鈴木委員

以前は洋式化すると数が減るっていうこともあったんですが、お金かけていただいてありがたいなと思ってます。

●教育長

個人的には、全部シャワートイレとかウォシュレットはどうかと言ったんですが、とてもお金がありません、ということだったんですが、今の時代、ウォシュレットにした方が良く思うんですが。

●溝口委員

市役所もみんなそうですからね。

●教育長

そうです。何で学校にウォシュレットではないのかと思いますが。

●鈴木委員

公共施設はまだ変わらないですね。

●教育長

子供たちも家庭もほとんどウォシュレットじゃないですかね。そう考えると、もうそうした方がいいかなって感じがするんですけども、費用が掛かるということでしたので。

●教育長

原案どおり、承認します。

協第3号 袋井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

●子ども未来課長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

●溝口委員

今まで掲示していたものを、掲示をやめずに、一回インターネット通して見せるようにしなきゃいけないということで、仕事を増やしてどうするんだらうなっていう気がするんですけど、決められた事なのでやるしかありませんけど、皆さん気持ち良くやってください。

●教育長

原案どおり、承認します。

【報告事項】

報第5号 児童生徒1人1台学習用端末の更新（GIGA第2期）について

●未来の教育推進室長

資料に基づき説明

●教育長

国のギガスクールですが、今は1台あたり4万5千円みていただいているんですが、今度は1台あたり5万5千円って言いながら、補助率1/3なので、結局3万7千円ぐらいしかみてくれないっていう話になってしまっています。それで、共同調達という話になっているんですが、共同調達っていうことは、袋井市とほかの自治体と一緒に調達しなさいということになるので、どういう仲間を探してできるかということですが、基金を使ってということですが、基金を県で積むことになってます。昨日、新聞に出ていましたが、県で23億円基金を積んで、そのお金で更新を図っていくという形になるそうですが、共同調達についてはまだどのような形になるかわからないので、今のところ、今あるものはとりあえず令和7年11月まで延長しましょうということで対応したいと思います。その代わりに、今あるものを契約延長するので、来年度予算で債務負担を組む形になりますので、議会にもこの形で報告していきます。

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第6号 袋井市こども計画の策定について

●子ども未来課長

資料に基づき説明

●教育長

こども計画の策定については、少し急な感が否めないんですけども、県内の様子を実際に聞きましたら、来年度策定するところは結構たくさんありまして、袋井市としても乗り遅れてはならないという部分も、一つの側面としてありながらも、実は県のこども計画が来年度作られることになっているので、それを横目で見ながら市の計画を作っていくということになるというのが一つあります。もう一つは、あそびの柱に関しまして、あそびの柱の財源の確保のために有利な起債制度が新しくできまして、それを利用するには、こども計画を作っていないと起債を認めないというスキームになっています。国がそういうスキームを作っていますので、私どもも作らなければいけないという話になりまして、こど

も計画を策定するということになります。主については、今までの継続になりますけれども、新たに子ども・若者計画っていうのを差し込むという形になりますので、どんな施策体系になるかっていうのはこれからの話になると思いますけれども、いずれにしても子どもや若者の意見を聞く機会を十分に設けなければいけないっていうことになるので、いろんな機会を考えていくことになろうかと思います。

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第7号 令和6年度 不登校対策支援事業について

●学校教育課長

資料に基づき説明

●教育長

3 B会議室は一般市民向けに開放してるんですけども、年間の貸出回数が30回弱、30回に満たないということなので、それであれば隣の3 Aを借りてもらえれば賄えるだろうっていうことで見込んでいます。圧倒的に多く使っているのは、教育委員会です。教育委員会であれば別の場所を使えばよいので、多分支障がないだろうと見込んでいます。これについても議会で報告して進めていきたいなと思っています。

●学校教育課長

ひまわりは2時ぐらいまでしか子供たちは活動していませんが、もしよかったら見ていただければと思います。よろしくお願いします。

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第8号 令和5年度袋井市立中学校の部活動地域連携・移行に関する取組経過について

●魅力ある部活動推進室長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

●溝口委員

大変難しい課題に対し、すごく精力的にやってもらって本当助かります。そもそもこれは学校の先生が忙しくて、なんとかそれをついていこうとするところが発端だと思うんですが、実際これが何年間か後に、2年3年間か後に、先生が少しは楽になりそうな雰囲気って見えて

ますか。どうなんですか。

●魅力ある部活動推進室長

やはり課題がいくつかありますが、ただそこを目指して行かないといけないということで、特に大きな課題の一つに、やっぱり先生方の意識改革がありますので、我々としては少しでも先生方の負担が減るように人を付けていきたいし、それから先生方の意識改革していかなきゃいけないし、もっと言いますと、学校から離して地域のクラブ等に移していけるといいかと思っていますので、まだまだハードルがたくさんあって、高い低いがあるなという実感がしてるんですけど、やっていかなきゃいけないということで、少しずつでも進めていきたいと考えています。

●溝口委員

たぶん先生の中にも部活動と繋がってほしいって人、きっぱり分けてほしいという人がいると思うんで、そこはすごく難しいと思うんですけど、せつかくこういう動きが出てきた以上は、やっぱり先生には、学校の子供たちの面倒を見る方に精力を傾けられるように、ぜひ頑張ってくださいなと思います。

●魅力ある部活動推進室長

実際、アンケートを見ますと、関わりたいて言っている方が、袋井市でも全国と同じぐらい2割ぐらいいるのは、アンケート結果で見えてますので、その方々も満足できるように、それからほかの8割の方々も満足できるような形を目指したいなと思っていますが、まだ時間はかかります。

●教育長

袋井市内小中学校の教職員向けにストレスチェックというのをやってまして、年に2回やっているんですが、2回目の結果がこの間出てきて、中学校の先生方のストレス要因で、トップ3の中に部活動指導というものが入ってるんですね。そうすると、部活動指導がなくなると、その負担感というのはかなり軽減される要素が大きいかなと思っています。反対になくなると寂しい先生も一部いると思いますが、おそらく学校の中で部活動は将来成立していかなくなると思っているので、地域の方へ移していくってことになるのかなと思っています。実は、掛川は3年間でなくすと宣言しています。磐田市が令和13年度に完全に外に出すことを目標としています。袋井市も、この間教育委員会の中で話をして目標年次を定めようかって話になったんですが、目標年次を定めるにはまだ少し不確定要素が多すぎて定まらないという話になりましたので、そこについて今後詰めていきたいと思っています。ただ、子供たちの立場になると、部活動があるかどうか分からないと、中学校に入る時に、部活に入る入らないかとか、クラブ行く行かないという選択肢で、なかなか判断ができなくなるので、いつかの時点で示すことが必要かと思いつつも、この間の協議会ではまだそこは少し早いかなという話になりました。またこれも逐次報告をさせていただきます。

●鈴木委員

保護者もすごく関心があって相談を受けたこともあるんですけど、やっぱり外部指導者の関係とか、今後どうなっていくのかっていうのも不安を抱えている方がたくさんいるので、丁寧に意見を聞きながら説明をしていただけるといいなと思います。

●魅力ある部活動推進室長

はい。もしよければこちらに連絡いただければと思いますが、なかなかその辺がハードル高いと思いますので。

●鈴木委員

だいたい保護者は、お金の面と指導者の面で悩んでる方が多いのかと思ってます。

●魅力ある部活動推進室長

あと、ホームページにも逐一出させていただいていますので。

●鈴木委員

またご報告させていただきます。

●魅力ある部活動推進室長

また教えてください。ありがとうございました。

報第9号 令和5年度卒業(園)式・令和6年度入学(園)式 出席者・日時一覧

●学校教育課長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

●教育長

ご相談したいことがございまして、告辞が必要かという議論が中でもありまして、実は私も思っまして、卒業式、卒園式、それから入学式、入園式、当然、学校の主催でやるものであって、教育委員会が出席するとなれば、設置者として参加していただくという形になります。ただ、そうは言っても、私も含めて教育委員は5人しかいないので行けたとしても5ヶ所しか行けないという形になります。そうすると、他は事務局職員が行って告示を読み上げるという話になるんですけど、周辺の市町に聞いてみたんですけど、磐田市はうちと同じようにやられてて、掛川市は行ってないです。教育委員だけしか行ってないです。事務局の人間が行って読み上げることはしてなくて、どこかに掲示しているようです。そもそも告辞は、果たして必要性あるのか、やる方がいいんじゃないかっていう話になれば、どういう形でやるかっていうところをご相談したいところです。事務局が行くか行かないかというところが一番影響が大きいものですから、教育委員の皆さんに直接関係

ないにしろ、どんな形でやるのがいいのか思いがありましたら、ご意見いただきたいなというふうに思います。市長、副市長は当然来賓として行ってもらいますが、毎回、中学校しか行ってないんですけど、そこは従来通り行ってもらおうかと思えます。したがって、教育委員会事務局の人間も礼服を着て行って、読み上げてくるという話ですが、結局教育委員会の告辞を読み上げてくれるだけという話になって、ある意味、形骸化している部分もあるかなと思いつつ、中でも相談したんですけども、意見が分かれまして。読まなくてもいいから来てもらう、教育委員会からちゃんと人が来たところの方が大切だということもありますし、形なりでも言った方がいいのではないかという意見もあります。ただし、校長先生の話とかぶるってところは当然たくさんあるので、果たしてどんなものだろうっていうことがありまして、今度の定例会で教育委員のみなさんに聞いてみましょうということ、残念ながらお二人欠席だったので、鈴木委員と溝口委員に率直なご意見をいただければと思います。今まであまり考え来たことや見たことがないかもしれせんけれども、ご意見伺えればなと思います。いかがでしょう。

●溝口委員

私は去年しか行っていませんけど、子供達に対して、僕らが告辞をして何か響いてるのかなっていうと、そんな感じじゃないかっていうのは感じます。正直、校長先生の話ですとか担任の先生の話だと、ものすごい響いてると思うんですけど、昔に比べれば挨拶が減ってるので楽にはなってるんですけども、あんまり正直。間違ったことはもちろん言ってないですし、教育委員会の方針みたいなことを言ってるのはいいことですけど、子供達に話がなんかすごく響くかなっていうと、ちょっと疑問があるっていうのは、今言われると思います。なくても別に子供達は困らない。仕組み上どうかは別にして思えます。率直に。

●鈴木委員

自分はずっと管理者告辞っていう形でやってきて、設置者として教育委員会がいてくださるっていうのは、自分がずっと学校にいる時は、そういうものだし、そこが学校だけじゃない教育委員会も見てくれてるんだっていうので、すごく心強さもあって良かったなって思ってますが、ここ最近まではコロナでいろんな式が簡素化され、来賓の数も減ってきて、多分先生がとても楽になったと思うんですよね。来賓がいっぱいいて、地域に気を使って色々で大変だったって思うので、掛川に聞いたらないという話だったので。自分は教育委員会告辞っていう紙をいただいて粛々とそれを読んで来ていました。自分の言葉じゃなくて、そういうものだと思ってやってたので、なくても良いなと私は思います。ただ、去年たまたま中学校と小学校に関わってたからなのかわからないんですけど、すごい喜んでくれました。生徒も保護者も、教育委員として来てくれてるんですねって喜んで頂いたっていう反応がありましたが、この際、席も職員会の方に変わってきてますよね。ですから、なくていいかなと、ただ、教育委員会として出席はした方がいいかと、学校のそういう現場を私たちが見るっていう事が必要かなって思いますが、告辞は無くしてもいいかなと思います。自分が嘱託でいたときに、告辞を作るのもすごい大変で忙しくて、しかも事務局の方たちがその日にみんな出てしまうっていうのは、働き方改革の意味でなくてもいいの

かなって思います。

●鈴木委員

多分、子供たちとか一般の先生にとって、教育委員会の委員っていうのはあんまり気にしてない人たちだと思います。まだ議員さんの方が上というか、話として関心はあるかと思います。鈴木委員がおっしゃるように、いることは、やっぱりこういう人たちがいるんだっていうのも、お互いに認識するのはいいと思いますけど。確かに告辞は淡々と読んでいたので、なくても差し支えないような気がします。

●教育長

ありがとうございます。事務局側でご発言ある方いらっしゃいますか。思いがある人がいらっしゃれば、いいですか。それでは、中で相談をして、少なくとも出席は、教育委員の皆さんにはしていただいた方がいいかと思うので、現場の割り振りは考えさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

報第10号 令和5年度静岡理工科大学 高校生学術交流事業「研究室訪問@SIST」 の実施結果について

●生涯学習課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第11号 宇刈里山公園への「化石レプリカ・説明看板等」の設置及びお披露目 会の開催について

●生涯学習課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第12号 社会科副読本デジタル版作成事業の経過について

●歴史文化館長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

●溝口委員

副読本のデジタル化はどんどん進めてほしいですけど、直接この関係ではないんですが、この間、吉田委員が言っていたのですが、実際、低学年の子供さんのiPadを見せてもらったんですけど、ここにたどり着くまでが、ものすごく大変というか、わかりづらいんですね。最初は分からなかったみたいで、やっとわかったということで見せてくれましたけど。それともう一つ、立ち上げたときに、いらないアイコンがいっぱい載ってるんですね。で、基本的にそれは変えられない、個人で変えないのかは分かりませんが、ものすごく時間の無駄でして、もっとすっきり自分たちが使うところに行けるような仕組みを考えてもらったら、だいぶ効率良くなるんじゃないかなと思いました。それこそ、袋井市の学校のポータルサイトみたいなものを作って、一年生はここから入って、こう入ると必要なものだけが見えてっていうように、そのぐらいやった方が、自分でやってないんであんまり分かんないですけど、すごく効率悪いなっていうのが、親の正直な考えのようですね。この報告事項に関する問題ではないんですけど、考えてもらおうと嬉しいなと思います。

●教育長

私も吉田委員に言われたのですが、こんなに使わないものがたくさんあるんですよって話をしました。

●未来の教育推進室長

少し検討させてください。

●溝口委員

僕らも会社で自分たちが使うものを、すごくみんなでどうやって効率よく見せようかって言って、それこそトップ画面を作らせました。必要なものだけをそこに集めて、そこから全てのところに飛んでいける。ものすごく効率いいんですね。そこまでやる必要があるかどうかは別としても、あんまり余分なものがあって、余分なことを考えさせる暇もないような気がしますね。ぜひ一度ご検討お願いいたします。

●教育長

はい、ありがとうございます。では、よろしく申し上げます。

報第13号 寄附品の受納について

●教育企画課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

報第14号 個別最適な学びに向かって 新たなAI学習ドリルの活用

●未来の教育推進室長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

●溝口委員

一番期待できそうなのが、先生が宿題を作らなくていいことかなと思います。最後に送ってくれたものが、たぶん今あるみんな共通のドリルのイメージですよ。それ以外は、あとは自分でやりなさいと。先生が宿題を作る数が減らせられるかなっていう期待がすごしあります。子供が楽しんでやれるのかなと思いますが、そんなイメージを受けました。

●未来の教育推進室長

教職員が子供の実態をつかむ意味では、配信する形は、教員は問題を全部見られるので、どの問題を出していこうかということが出来るんですね。ですから、その状況を把握することによって、今後の指導に活かせるということはあるかだと思います。働き方改革にも、多少つながると思います。

●溝口委員

これだけ子供の学力の格差が出てくると、こういう教え方がいいのかもしれない。逆に言うと、先生はみんながやったのを、どこを今やってるのかをチェックして、その子にあった勉強法を指導していく、そういう方向にシフトしてくのかなって、これを見て思いました。

●未来の教育推進室長

教師用の画面を見ていると、つまづいてる子が分かるので、逆にピンポイントでそこに行き、すぐにその子の指導に当たれるというプラスの面があります。

●溝口委員

全員共通の宿題という意味がだんだん無くなって来るような気がしますね。

●鈴木委員

個別最適で有効だと思うんですが、働き方改革という意味ではなく、教員の意識改革ができれば意味がない。今中学生が、たとえば定期テスト前に、紙のドリルを全部埋めるために答えを写して、今は自分で全部ほとんど自分で丸付けてますよね。小学生も長期休業中の宿題を全部自分で丸をつけている。私達が見ても、いいんだよ、とにかく直しながら丸つけても、それで分かるからって言っているんだけど、そうではなくて、やっぱりその子において、その子の理解度によって進めていくってことは本当にこれから必要だと思うし、与えられるんじゃなくて、自分で選んでくることが必要なんだけど、そ

れに行くためにやっぱり教員の研修によって、意識の変革がないといけない。そこにできたものがあればよい、というような感覚から出ていかなきゃいけないんじゃないかなって思います。

●未来の教育推進室長

教科書に書いてあることをただ教えるような時代ではもうありませんので。昔、教科書で教えるんだって、教科書を教えるんじゃないよっていう話、よく言ったかと思うんですが、今もうそういう知識を詰め込むだけの教員は、逆にこれでやれば充分なので、そういった教員が、今度は自分の居場所とかが無くなってしまう。要するに、本来の授業というのはどのようにして行かないといけないのかということを考えないと、それこそA Iに取って代わられてしまう。自分の仕事を取られてしまう。そんなふうになって行くんじゃないかなと思います。

●未来の教育推進室長

はい、ありがとうございました。実証して行ってもらって、これは百点満点の能力というわけではないので、何年か使っていて、また新しいもの出れば、それに向かって行けばいいかなと思います。また、使い始めてから途中経過を報告してください。

7 その他

(1) 連絡事項

- ア アザレアセブン応援給食について
- イ ジュビロ応援給食について
- ウ 令和5年度 保育士等キャリアアップ研修の開催結果について
- エ 令和6年度 袋井市教育委員会 主な年間行事予定表（案）

(2) 次回定例会等の予定について

3月教育委員会定例会

3月22日（金）午後1時30分～ 教育会館3階 ICT研修室

(3) その他

8 閉会

（午後4時25分閉会）